



小笠東小学校

学校だより



重点目標「めあてに向かって がんばる子」

令和3年2月15日

1 令和2年度児童・保護者アンケート結果

2学期の「保護者アンケート」への御回答をありがとうございました。「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」の項目では、肯定的な回答が9割を超えました。今後も、新しい生活様式を意識した学校生活の中で、子ども達が「楽しい」「頑張ってたよかった」と感じ、自分を伸ばしていけるような学校をめざしていきます。

学校では、アンケート結果をもとに、学校評議員会やPTA委員会等で御意見をいただき、令和3年度の東小の教育活動について検討しています。引き続き、本校の教育活動に御支援・御協力いただきますよう、お願いいたします。

アンケート項目		かなり当てはまる、当てはまるの合計(%)			
		児 童		保 護 者	
		1 学期	2 学期	1 学期	2 学期
温かな 人間関係	学校が楽しい	88.8	93.1	91.7	94.3
	みんなで何かをするのは楽しい	94.8	97.4		
	自分からあいさつをしている。	84.4	84.1	76.3	83.2
	相手の名前にさん付けしている。	78.0	83.1		
学力向上	授業に主体的に取り組んでいる。	84.4	91.8		
	授業の内容がよくわかる。	85.8	90.1	86.9	88.5
	相手の考えを受け入れて温かく聞いている。	90.9	91.8		
	学級と友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできていると思う。	80.6	85.7		
	授業で ICT を活用している。	90.8	92.6		
	毎日宿題をしている。			98.3	96.6
	家で予習をしている。	60.0	56.2		
	家で復習をしている。	71.1	75.7		
学校、家 庭、地域 との連携	地域や社会をよくするために何をしたらよいかを考えることがある。(5・6年生のみ)	75.9	75.0		
	学校に信頼できる先生がいる。	87.5	91.8	91.6	96.6
	学校は積極的に情報発信をしている。			93.0	95.2

2 令和2年度の成果

(1) 課題を見つけ、「自分事」にする力（「自分からあいさつをしている」より）

1学期末のアンケートでは、児童の回答と保護者の回答の間に約10%の開きがありました。また、地域の方からは、あいさつが苦手だという意見も多く出ていました。あいさつについて児童の思いと周囲との間にずれがあることがわかり、新しい生活様式におけるあいさつについて話をしたり、校内放送等により、課題を示し続けたりしました。児童の肯定的評価低下は、児童があいさつを課題だと気づいた結果だと考えます。現在、学校では児童が提案した「だれにでもぺこりあいさつ」に取り組んでいます。課題に気づき、「自分事」としてとらえて挑戦する力こそ、主体性向上の原動力です。今後も「課題を見つけ」「挑戦していく」児童を育てていきます。

(2) 挑戦したことの成果を実感する力（「相手の名前にさん付けしている」より）

「相手の名前にさん付けしている」の肯定的評価が向上したのは、課題の改善に向けて努力したことを「できた」と実感した成果だと考えます。今まで習慣化していたことを「自分たちの課題」として捉え、見直しをし、改善していく力がついています。スリッパや身の回りの整頓、言葉遣いなどについても、改善していく姿が見られていることから、「思いやりの環境整備」が学校生活を心地よくすることに気づく力につながったのだと考えます。

(3) 具体的イメージをもって取り組む力（「家で予習をしている」より）

児童は家で翌日の授業のために毎日音読をしています。時には国語以外の教科書を読むといった宿題を出すこともあります。授業の前に内容について知っておくことは「家で予習をしている」ということになります。児童が行っている音読は「予習」に含まれる学習活動なのですが、これを「予習」と捉えている児童は少ないようです。「授業に主体的に取り組んでいる」についても同様です。主体的とは「挑戦し続ける力」です。これらの具体的イメージを児童と教職員とが共通して理解し、教育活動を進めていきます。

(4) 東小の児童を応援してくれる人たちの存在

「信頼できる先生がいる」の肯定的評価向上は児童にとって学校が安心・安全な場所となりつつあることを示していると考えます。

学校では、教職員の目が届かない時間や場所がないように配慮していきます。また、積極的にHPを活用して、学校の様子や児童の学ぶ姿についての情報発信を続けてきました。これらのことについて御理解いただけたことと捉えます。

一方で「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えることがある（5・6年生児童のみ対象の項目）」の肯定的評価は80%を下回っています。本校の児童は登下校を見守ってくださるスクールガードの皆様、草刈りをしてくださった自治会やPTA、スポ少の方々、その他ボランティアなどでお世話になっている地域の皆様など、多くの方に見守られ、恵まれた環境に包まれています。岳洋学舎連携をさらに推進することで、見守られているだけでなく、「自分たちには周りの人を幸せにする力がある」という自覚と自信を持って、社会や地域に目を向けられるように、手立てを講じていきます。

3 令和3年度の小笠東小教育活動

令和2年度の成果「課題を見つけ、よりよい方法を考え、挑戦する力の向上」をさらに伸ばすことを令和3年度小笠東小学校の目標にします。

(1) めざす子どもの姿

岳洋中学校区教育目標 「自信をもち 自分の力を発揮する子」

小笠東小学校重点目標 「気づき 考え 挑戦する子」

ア 見つける1学期

いろいろな人と自分との「同じと違い」をたくさん見つける。

もっとよくしたいこと、いいところをたくさん見つける。

イ 挑戦する2学期

もっとよくするための方法を考え、工夫して挑戦してみる。

挑戦を続けて成果を実感する。

ウ つなげる3学期

挑戦した得た成果を、自分、学級、学校、家庭、地域とつなげる。

挑戦し続けたことを来年度につなげる。

(2) 参観懇談会

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、地区別参観会、懇談会は行わず、PTA総会は書面表決とします。

(3) ICT活用

積極的にICTを活用した学習を進めていきます。また、学校での児童の様子、教育活動について、来年度も継続してHPを利用してお知らせします。

(5) PTA活動

本部は、会長1名、副会長2名（母親代表を含む）の3名とします。

専門部は、施設部と生活部の2部とします。

奉仕作業は、年2回実施します。

4 学校評議員の御意見（令和3年1月14日）

(1) 新しい生活様式が身につき、落ち着いて生活できている。

(2) 今後もICTを活用した授業を進めて欲しい。